

ごあいさつ

近年、少子高齢化の進行や、核家族、単身世帯の増加等により、高齢者や障がい者など、日常生活上の支援を要する人々は、極めて厳しい状況に置かれています。また、地域における住民同士のつながりが希薄化し、虐待や孤立死といった新たな社会問題が発生するなど、地域を取り巻く状況は変容しております。

糸島市におきましても、地域の福祉サービスに対するニーズは増大し、さらに複雑かつ多様な問題への対応も迫られており、公的福祉サービスのみでは、適切かつ迅速に対応することが困難になってきております。

このような状況から、地域に共に暮らす住民同士の見守り・支え合いと、公的福祉サービスの充実を両輪とした地域福祉の充実が求められております。

そこで、本市では、“ふくしが よかところ いとしま”を地域福祉の将来像として、福祉施策推進の中核を担う社会福祉協議会と連携・協働することにより、より実効性のある糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定いたしました。

本計画は、地域福祉推進の指針として、「糸島市まちづくり基本条例」の基本理念に基づき、自助・共助・公助の精神で、市民・地域団体・社会福祉協議会・市などが、参画・連携して取り組むものとしています。今後、本市は社会福祉協議会とより一層連携を強化し、地域福祉の推進に努めてまいりますので、市民、地域団体、関係機関の皆様におかれましては、計画の主旨と理念をご理解いただき、積極的に取り組んでいただくようご協力をお願いいたします。

最後に、計画の策定にあたり、熱心にご審議いただき、貴重なご意見を賜りました糸島市地域福祉計画等策定委員会の皆様をはじめ、アンケート調査やワークショップ等にご協力いただきました市民並びに関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

平成 26 年 3 月



糸島市長 月形 祐二

ごあいさつ

急速な少子高齢化や核家族化、都市化の進展に伴い、家庭や地域社会における人間関係が希薄化しており、地域で抱える生活課題は複雑多岐にわたっています。

高齢者等の孤立死、児童や高齢者等への虐待問題、弱者を狙った悪質な詐欺事件の他、厳しい社会経済情勢を背景にした生活困窮や住宅喪失といった新たな貧困問題も発生しており、市民一人ひとりの生活に対する不安は一層高まっています。

また近年、各地で大規模な災害が頻発し、いつ、糸島市でも同様の災害が起こるかわかりません。改めて、地域における安全・安心の確立が必要であり、地域の支え合いの仕組みづくりが求められています。

このような状況の中、地域の特性に即した「地域福祉」の推進は、極めて重要であり、中長期的な視点に立って、市と協働した地域福祉推進のための計画策定に取り組んでまいりました。

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画は、「福祉をみんなで支えるまち“いとしま”」を基本理念として、30の実施項目を定め、市民と地域団体、市、社会福祉協議会が、それぞれの役割を果たしながら協力し合い、地域での生活課題を解決し、共に生き、支え合う社会を構築していこうとするものです。

本協議会は、この計画に基づき、「(い)糸島に住み続けることを願い、(と)共に生きる地域社会を願い、(し)幸せに誰もが暮らせることを願い、(ま)街が元気になることを願う」、そんな願いの実現を目指す地域福祉の中核機関として、行政をはじめ、区長会、民生委員児童委員協議会、校区社会福祉協議会、福祉委員、ボランティアなどの方々と協働し、地域福祉を一層高めてまいる所存でございますので、更なるご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見と多大なご協力を賜りました糸島市地域福祉計画等策定委員会の皆様をはじめ、地域福祉現状把握調査やワークショップにご協力をいただきました市民、福祉団体関係者の皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。

平成 26 年 3 月

社会福祉法人 糸島市社会福祉協議会
会 長 末 崎 亨

